

無人資材置場の管理を遠隔で行い、 業務効率化につなげたい！

課題



- 資材置場の状況
 - 当局管理の無人資材置場（9か所）は、有人資材置場（新砂、狛江）の管理委託会社が巡回点検している（週1回程度）
 - 未利用地を有償で当局工事受注者に貸出しているが、窃盗事件が発生
- 不審者侵入、資材の盗難等の早期発見・対応及びセンサー発報時の異常状況の確認を画像データの照合などにより遠隔で行いたい
- 樹木、小動物等によるセンサー誤発報をAIで判定、除去したい（AIで一定間隔の画像照合による異常検知通報を想定）

※都庁や有人資材置場からの監視を想定

背景

- なぜ課題が生じているのか
 - 委託料予算の制約により、資材置場の巡回点検回数が少ない
 - 委託管理内容に災害発生時の対応が含まれておらず、発災時の状況把握に時間がかかる。
 - 窃盗事件等が発生した場合、出来るだけ早期の状況確認が求められるが、即座の対応が困難

現場からの コメント



- IoTを設置する際の施設のネットワークへの接続は可能
- データ管理等に係るクラウドはない

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

水道局貯蔵品担当
（経理部出納課・管理課）

都内11か所の置場で災害時に必要な資材を保管管理（出納課）

未利用地を資材置場として貸出し（管理課）